

# 中小企業景況調査報告書

令和6年 7 ~ 9月期 実績  
令和6年 10 ~ 12月期 見通し

## 鹿児島県商工会連合会

(令和6年10月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

### 〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9~ +10.0	 まあまあ +9.9~ ▲9.9	 不振 ▲10.0~ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和6年7~9月期を対象とし、調査時点は令和6年9月1日とした。  
令和6年10~12月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・さつま町・鶴の町・伊佐市・始良市・霧島市  
志布志市・大崎町・垂水市・錦江町・西之表市・龍郷町・徳之島町
- 回答企業 対象企業 204企業  
製造業：42企業 建設業：27企業 小売業：58企業 サービス業：77企業

### 県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
5年 7月 ~ 9月期	 ▲9.3	 6.7	 ▲25.9	 ▲6.7
5年 10月 ~ 12月期	 ▲4.6	 23.3	 ▲19.3	 ▲4.1
6年 1月 ~ 3月期	 ▲2.2	 6.7	 ▲23.2	 ▲7.8
6年 4月 ~ 6月期	 ▲9.1	 7.2	 ▲27.6	 ▲2.5
6年 7月 ~ 9月期	 ▲16.7	 ▲7.4	 ▲19.0	 ▲19.5
来期見通し(10~12月期)	 ▲14.3	 0.0	 ▲25.9	 ▲14.3

### 総合(業況)

前年同期(令和5年7月~9月期)と比較した今期(令和6年7月~9月期)の業況は、製造業▲16.7(前年同期比7.4ポイント悪化)、建設業▲7.4(前年同期比14.1ポイント悪化)、小売業▲19.0(前年同期比6.9ポイント改善)、サービス業▲19.5(前年同期比12.8ポイント悪化)となった。

今期については、前年同期と比較すると、例年にない酷暑の為、影響が出ている業種もあり、8月に南九州を襲った地震や台風もあり、観光業においては、夏休みの繁忙期に打撃を受けた。また価格高騰等が影響し、建設業を除き採算が厳しい状況が窺える。

また前期(令和6年4月~6月期)と比較すると、製造業7.6ポイント悪化、建設業14.6ポイント悪化、小売業8.6ポイント改善、サービス業17.0ポイント悪化となった。価格高騰や人件費の増加、人手不足等により、じわりじわりと影響が出て始めている。

なお、来期(令和6年10月~12月期)の見通し(DI)は、今期と比較すると、製造業2.4ポイント改善・建設業7.4ポイント改善、小売業6.9ポイント悪化、サービス業は5.2ポイント改善の見通しとなり、今期と比較的に変わらない状況と予想されるが、10月からの最低賃金アップで、人件費増となり、物価高騰の折、中小企業・小規模事業者にとっては厳しい状況が続くと思われる。

# 業種別景気動向

## 【製造業】 有効回答数 42 企業

調査対象企業内訳：食料品(17)、飲料・飼料・たばこ(8)、繊維工業(1)、衣類、その他繊維製品(1)、  
一般機械器具(1)、家具・装備品(2)、木材・木製品(2)、プラスチック製品(1)、  
印刷・同関連(4)、金属製品(3) 窯業・土石製品(1)、その他(1)

	売上額	採算	資金繰り	業況
5年7月～9月期	13.9	▲7.0	0.0	▲9.3
5年10月～12月期	6.8	▲22.7	▲4.6	▲4.6
6年1月～3月期	▲8.9	▲15.6	2.3	▲2.2
6年4月～6月期	▲13.7	▲22.7	▲6.8	▲9.1
<b>6年7月～9月期</b>	<b>▲19.0</b>	<b>▲45.2</b>	<b>▲11.9</b>	<b>▲16.7</b>
来期見通し(10～12月期)	▲19.1	▲26.2	▲23.8	▲14.3

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・学校給食で使用する食品の製造が事業の柱になっており、夏休みにあたる7月から8月はどうしても業績が悪化してしまう。  
(その他畜産食料品製造業)
- ・今年に入り受注工事が今までにない減少で7月は従業員には20日程休んでもらった。県全体的に仕事が減少している様で、鋼材から木材に代わりつつあるよう。現場の鳶さんや人手不足もあり先行き心配。  
(鉄骨製造業)
- ・紙の価格上昇が止まりました。  
(印刷業)

### 経営上の問題点

第1位 原材料価格の上昇	26.8%	(前期比 -17.1)
第2位 原材料の不足	17.1%	(前期比 +17.1)
第3位 製品ニーズの変化	9.8%	(前期比 +4.9)

## 【建設業】 有効回答数 27 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(20)、職別工事業(3)、設備工事業(4)

	完成工事額	採算	資金繰り	業況
5年7月～9月期	24.1	▲6.6	3.4	6.7
5年10月～12月期	30.0	0.0	3.3	23.3
6年1月～3月期	38.0	0.0	3.3	6.7
6年4月～6月期	3.6	▲3.6	0.0	7.2
<b>6年7月～9月期</b>	<b>14.8</b>	<b>3.7</b>	<b>▲3.7</b>	<b>▲7.4</b>
来期見通し(10～12月期)	7.4	▲7.4	0.0	0.0

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・個人住宅関連の発注が急速に減っている。  
(内装工事業)
- ・公共労務単価は増加しているが、資材価格の高騰が労務費へのしわ寄せとなり給与の大幅アップとはならず苦慮している。休日確保のうえ、作業能率が低下している高齢者で現場を進めていくので利益低下は、避けられない。  
(一般土木建築工事業)
- ・公共工事は例年通りだが、民間工事は近年伐採工が増加しており、パート等の臨時従業員ではなく、有資格者の従業員の確保と育成が課題である。  
(造園工事業)

### 経営上の問題点

第1位 材料価格の上昇	33.3%	(前期比 -23.2)
第2位 従業員の確保難	25.0%	(前期比 +12.0)

## 【小売業】 有効回答数 58 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(27)、各種商品(2)、織物・衣服・身の回り品(5)、家具・建具(3)  
自動車・自転車小売業(1)、その他(20)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
5年7月～9月期		▲12.0		▲39.7		▲20.7		▲25.9
5年10月～12月期		▲8.8		▲31.6		▲24.6		▲19.3
6年1月～3月期		▲17.5		▲28.0		▲16.0		▲23.2
6年4月～6月期		▲27.6		▲34.5		▲22.4		▲27.6
<b>6年7月～9月期</b>		<b>▲25.9</b>		<b>▲31.0</b>		<b>▲14.1</b>		<b>▲19.0</b>
来期見通し(10～12月期)		▲24.2		▲32.8		▲19.3		▲25.9

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・台風の影響で、修理や部品交換等の依頼が増えそうではあるが、材料費も上がっているの、どのくらいの値段でお客様に提供できるか心配ではある。  
(金物小売業)
- ・今年は例年より暑かったため、乳飲料よりもジュース等の清涼飲料の需要が多かった。ただ夏場は乳製品の温度管理に注意が必要で今年のような暑さでは、冷蔵・冷凍庫の電気代が上昇して経費の増加となってしまう。  
(牛乳小売業)
- ・今夏の猛暑により果物・野菜の全てにおいて生産できなかつたり不作になつたりで商品量が少なく、それに伴い高値がついて売値に困った。生物を使っている上、処分をしたりして売上に計上できず赤字が続いている。  
(果実小売業)

### 経営上の問題点

- 第1位 仕入単価の上昇 34.0% (前期比 +4.4)  
第2位 需要の停滞 11.3% (前期比 +0.2)

## 【サービス業】 有効回答数 77 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(17)、飲食店(27)、自動車整備業(11)、宿泊業(7)  
運送業(2)、その他(13)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
5年7月～9月期		10.6		▲12.0		▲13.4		▲6.7
5年10月～12月期		6.7		▲6.7		▲9.3		▲4.1
6年1月～3月期		6.5		▲20.8		▲13.1		▲7.8
6年4月～6月期		0.0		▲25.7		▲7.7		▲2.5
<b>6年7月～9月期</b>		<b>5.2</b>		<b>▲27.3</b>		<b>▲14.3</b>		<b>▲19.5</b>
来期見通し(10～12月期)		▲5.2		▲28.6		▲19.5		▲14.3

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・厳しい暑さから顧客数は増加傾向にある。しかし、仕入単価の上昇から利益を圧迫している状況であり、今後もお米等の高騰が懸念材料である。  
(焼き肉店業)
- ・自然現象(台風や地震、温暖化等)の影響や社会経済情勢の変化で見通しが立てにくい。  
(一般貸切旅客自動車運送業)
- ・LCCの不安定な就航状況を消費の落ち込みからか、繁忙期のわりには、予約数が伸び悩んでいる。  
(簡易宿所)

### 経営上の問題点

- 第1位 材料等仕入単価の上昇 46.6% (前期比 +0.7)  
第2位 需要の停滞 9.6% (前期比 +4.2)  
第3位 人件費の増加 8.2% (前期比 +1.4)

# 全産業【鹿児島県】

2024年7月期～9月期

## 全産業

鹿児島県

2024年7月～9月期

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	204	27.5	37.7	34.8	-7.4	204	16.7	54.9	28.4	-11.8
売上（加工）単価・客単価	177	27.1	55.4	17.5	9.6	177	17.5	67.2	15.3	2.3
売上（加工）数量	42	21.4	42.9	35.7	-14.3	42	16.7	57.1	26.2	-9.5
客数	58	8.6	48.3	43.1	-34.5	58	3.4	53.4	43.1	-39.7
利用客数	77	20.8	45.5	33.8	-13.0	77	14.3	55.8	29.9	-15.6
資金繰り	203	7.4	72.9	19.7	-12.3	203	3.4	75.4	21.2	-17.7
輸出額	18	5.6	88.9	5.6	0.0	18	11.1	88.9	0.0	11.1
受注（新規契約工事）額	27	37.0	37.0	25.9	11.1	27	29.6	51.9	18.5	11.1
原材料・商品等仕入れ単価	203	75.4	22.7	2.0	73.4	203	64.0	34.0	2.0	62.1
原材料在庫数量	42	7.1	73.8	19.0	-11.9	42	4.8	81.0	14.3	-9.5
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	58	51.7	25.9	22.4	29.3	58	41.4	36.2	22.4	19.0
商品・商品在庫数量	100	5.0	75.0	20.0	-15.0	100	2.0	84.0	14.0	-12.0
採算（経常利益）	204	8.8	54.4	36.8	-27.9	204	5.4	62.7	31.9	-26.5
従業員（含臨時・パート）	172	8.7	85.5	5.8	2.9	172	2.9	77.3	4.7	-1.7
外部人材（請負・派遣）	110	3.6	90.9	5.5	-1.8	110	1.8	92.7	5.5	-3.6
設備操業率	41	17.1	53.7	29.3	-12.2	41	7.3	78.0	14.6	-7.3
引合	67	16.4	64.2	19.4	-3.0					0.0
受注・契約残	69	17.4	60.9	21.7	-4.3					0.0
業況（自社）	204	9.8	63.2	27.0	-17.2	204	6.4	71.6	22.1	-15.7

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	204	22.5	45.6	31.9	-9.3					
売上（加工）単価・客単価	177	14.1	68.9	16.9	-2.8					
売上（加工）数量	42	16.7	42.9	40.5	-23.8					
客数	58	10.3	50.0	39.7	-29.3					
利用客数	77	16.9	55.8	27.3	-10.4					
資金繰り	203	6.4	76.4	17.2	-10.8					
業況（自社）	204	9.8	68.6	21.6	-11.8	204	10.8	70.6	18.6	-7.8
受取手形期間	42	0.0	100.0	0.0	0.0	42	2.4	97.6	0.0	2.4
長期資金借入難度	158	5.7	85.4	8.9	-3.2	158	2.5	88.6	8.9	-6.3
短期資金借入難度（含手形割引）	141	5.0	88.7	6.4	-1.4	141	2.8	90.1	7.1	-4.3
借入金金利	158	9.5	89.9	0.6	8.9	158	10.1	87.3	2.5	7.6

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	204	11.3	64.2	24.5	-13.2
生産に対する原材料在庫	41	2.4	80.5	17.1	-14.6
売上に対する製品在庫	99	11.1	80.8	8.1	3.0
採算（経常利益）	204	17.2	65.2	17.6	-0.5
引き合い	67	11.9	70.1	17.9	-6.0
生産設備	40	7.5	77.5	15.0	-7.5
従業員（含臨時・パート）	178	1.1	79.2	19.7	-18.5

上2表

- ↗：増加・上昇・好転・長期化・容易
- ：不変
- ↘：不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

- ↗：良い・過剰・黒字・活発
- ：ふつう・適正・収支トントン・ふつう
- ↘：悪い・不足・赤字・低調